

(平成30年度事業報告)

平成30年度事業計画の進捗状況一覧表

本部事務局

No.	平成30年度事業計画 〔具体的な事業計画(目標)〕	計画の達成度				目標達成に向けての課題等
		順調	ほぼ順調である	やや遅れている	遅れている	
1	「安定した経営」				○	・平成30年度は法人全体で赤字計上となっている。しかし、一部の施設は黒字経営となっているが、法人の柱となっている医療関係と介護施設の過半数が赤字経営となっているために平成29年度同様に平成30年度においても、厳しい経営状況が続いている。現在は安定した収入確保を図れるよう方策を練り、実行して赤字経営から脱却できよう役職員一同鋭意努力していくことが大切である。
	①安定した収入の確保				○	・医療関係と介護施設の過半数が赤字経営となっているために、安定した収入の確保ができていない状況にある。そのために方策を練り、実行し安定した収入確保が今後の課題となっている。地域に根付いた施設として信頼を得て、公益的な取組を今後とも行っていく。
	②経費節減	○				・赤字経営となっているために全施設ともさらなる経費削減に取り組んでいる。
	③サービスの質の向上		○			・今後さらに増える利用者のニーズに対応するためにサービスの質の向上は重要な課題となっている。そのためにリスクマネジメント体制を確立し、又研修会等に参加するなどして職員一同サービスの質の向上を目指して、日々取り組んでいる。
	④法人本部事務局の強化及び会計ソフトの統一				○	・少人数で本部事務局の強化に取り組んでいる。平成30年度においては会計ソフトの統一に取り組んでいる。今後は状況をみながら強化に取り組んでいきたい。
	⑤関係施設間の連携及び情報収集		○			・神栖支部・東村山支部とも福祉・医療の各施設合同の会議等で連携や情報収集を図り、又各関係機関との連携を強化し、各施設の役割を果たし、安定した経営に繋げていきたい。さらに地域社会に信頼される法人として取り組んでいきたい。
2	「地域における公益的取組を実施する責務」		○			・平成28年改正社会福祉法において、創設され、現在、地域のニーズに応じるために実施している。又社会福祉法人として責任を果たすべく、行政や協議会等と協力している。今後は独自の福祉サービスを提供できるようにシステム等を構築し、さらなる地域社会に貢献できるような法人を確立していきたい。
	①ホームページ上での情報発信		○			・事業運営の透明性を行うためにホームページをリニューアルし、積極的に活用している。今後とも一層充実を図っていき利用者へのサービスとして透明性を向上させていきたい。
	②地域と連動した施設づくり		○			・少子高齢化、人口減少などの変化に対応し、福祉・医療サービスの連携を図り、地域のニーズに応える施設づくりを実施し、今後とも地域から信頼される施設として構築していくことが必要となる。
	③安全で安心できる施設		○			・質の高いサービスを提供し、地域のニーズに応える福祉・医療サービスを提供できる安全で安心できる施設を目指している。さらには地域に根付いた安心できる施設を目指している。
	④災害時の地域住民や関係機関との連携		○			・災害時、福祉施設等は地域の要援護者支援という点で大きな役割が求められます。災害発生時は行政や関係機関、地域との役割分担し、対応していかなければなりません。又、一部の施設は地域の避難所として開放し、関係機関と連携し、地域住民の支援を行います。